

へきなん 議会だより

令和7年9月市議会定例会

- 審議された議案等——2～3
- 市政を問う・一般質問——4～11
- 議会の窓——12

碧南市議会
HPへ



5歳児「アイシンティルマーレ碧南との交流」



4歳児「夏祭りごっこ」



3歳児「テラスで金魚すくいとヨーヨー釣り」

1・2歳児「楽しい給食の時間」

テーマ：「碧南の未来を担う子どもたち」
～みんな楽しい羽久手保育園～

令和6年度決算認定など 議案等20件と、陳情1件を審議

令和7年9月市議会定例会は、9月3日から9月26日まで、24日間の会期で開会しました。会期中に同意議案1件、条例議案4件、補正予算議案4件、その他議案1件、認定議案8件、報告案件2件の合計20件を審議しました。また、陳情1件を審査しました。議案等は、次のとおりです。



同意

- 碧南市教育委員会委員の選任について
現委員の岡本明弘氏が、令和7年9月30日をもって任期満了となり、同氏を再び選任することに同意した。

条例

- 碧南市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び碧南市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
公費負担の限度額の引上げ
- 碧南市精神障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
(1) 受給資格者要件の改正
(2) 字句の整理
- 碧南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
引用条項の改正
- 碧南市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

部分休業に係る規定の改正

補正予算

- 令和7年度碧南市一般会計補正予算(第3号)
- 令和7年度碧南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和7年度碧南市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和7年度碧南市病院事業会計補正予算(第1号)

その他

- 令和6年度碧南市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

認定

- 令和6年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度碧南市後期高齢

者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について

- 令和6年度碧南市水道事業会計決算の認定について
- 令和6年度碧南市下水道事業会計決算の認定について
- 令和6年度碧南市病院事業会計決算の認定について

報告

- 令和6年度碧南市健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について
- 和解に係る専決処分について

陳情

- 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情(不採択)



9月市議会定例会に上程された議案等の審議結果

議案等の内容	採決結果	心政会						みらい市民クラブ					共産党	公明党	翔政会	会派に属さない議員								
		小林	藤浦	磯員忠	生田悠	中西	高木	生田綱	林田	鈴木	神谷	石川	藤田	杉浦	山口	磯員明	大竹	加藤	赤倉田	森下	長崎	岩月	生田充	
同意	碧南市教育委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	碧南市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び碧南市の議会の議員及び長の選挙におけるポスターの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市精神障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	碧南市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和7年度碧南市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度碧南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度碧南市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度碧南市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	令和6年度碧南市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	令和6年度碧南市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度碧南市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成、×…反対、△…退席、―…欠席、※…議長のため、採決に加わらず

市政を問う

9月市議会定例会一般質問

9月定例会では、9月3日、4日、5日の3日間、13人の議員が一般質問を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

詳細は、碧南市議会ホームページ内の「インターネット中継」「市議会会議録」又は、市民図書館に配布する「9月市議会定例会会議録」(11月下旬発行予定)をご覧ください。

また、右記の2次元コードから議会中継のページにアクセスできます。



△碧南市議会中継△

質問者と質問事項

生田 悠(心政会)

- ①災害時相互応援協定について
- ②小中学校における水泳授業について

- ②ごみ回収の適正化とカラス被害対策について

山口 春美(日本共産党碧南市議員団)

- ①戦後80年の平和教育について
- ②伊勢町子ども園と公立保育について
- ③ごみ焼却場について
- ④物価高騰からくらしを守れ

鈴木 みのり(みらい市民クラブ)

- ①安心・安全で活気あるまちづくりについて
- ②教育行政について

長崎 章浩

- ①碧南市の生活保護の現状について

藤浦 伸介(心政会)

- ①水道事業の強靱化について

神谷 悟(みらい市民クラブ)

- ①環境にやさしいまちづくりの取り組みについて

岩月 ひろし

- ①子ども食堂について
- ②集客力向上に向けた、あおいパークの施設改修について

小林 晃三(心政会)

- ①碧南市の災害対策(酷暑・内水氾濫・地震津波)について

大竹 敦子(公明党)

- ①災害に強い安心安全なまちづくりについて
- ②発達性ディスレクシアについて

磯貝 忠通(心政会)

- ①町内会役員の負担軽減について

森下 敏弥(翔政会)

- ①市長とのおしゃべり会について

高木 洋和(心政会)

- ①市内駅周辺について



心政会
生田 悠

災害時相互応援協定について

問 福井県越前市、北海道夕張郡由仁町、宮城県塩竈市等との締結内容は。

答 必要な資機材、車両等の提供、職員の派遣及び被災児童生徒の受入れ等を実施する。

問 協定を形骸化させないための取り組みは。

答 総合防災訓練のときに衛星電話を使用した通信訓練や災害の発生が危惧された場合に被害状況の確認を行っている。

問 災害時相互応援協定の拡大等、今後の方向性は。

答 現在、拡大の予定はないが、本市の選定基準に適合している自治体があれば、積極的に協定締結に努める。

小中学校における水泳授業について

問 水泳授業の実施状況は。

答 小学校ではプールの開始を昨年より1週間前倒しさせ、予定の8割、中学校ではほとんどを実施している。

問 プールの維持管理等の年間コストは。

答 令和6年度では、点検委託費として小中学校合わせて15万円余、修繕費として小中学校合わせて371万円余を支出している。

問 民間への委託の可能性は。

答 民間への委託や教員の負担軽減につながる監視員等の配置、座学の導入も選択肢としながら、持続可能で児童生徒にとって価値のある水泳授業を検討する。



▲中央小学校プール 昭和52年完成



日本共産党
碧南市議員団
山口 春美

戦後80年の平和教育について

問 平和式典での知事市長の言葉をどう受け止めるのか。

答 8月9日の長崎式典に副市長が参列した。被爆樹木二世の植樹を来年度行う。

問 文科省指導案の戦争と核兵器の教育は侵略戦争の史実。核兵器抑止論の否定で行うか。

答 幅広い視点から偏った教育にならないようにする。

伊勢町子ども園と公立保育

問 伊勢町子ども園の業者、災害対策をあきらかにできないか。

答 8月25日選定委員会を選定したが、公表できない。

ごみ焼却場について

問 産業廃棄物焼却、他自治体のごみを受け入れるかの調査を、

なぜ市が行うのか。2号地グラウンドの県の使用許可、購入価格は。現行の場所での用地取得を含めた費用比較はされているのか。

答 未定である。

物価高騰からくらしを守れ

問 少額の年金額増で非課税が課税になった件数は。

答 年金収入だけで100件。

問 市独自の75歳以上単身非課税を対象にする医療費無料のマルフク。高齢者タクシー券。緊急通報電話基本料金補助が廃止されてしまう。均等割のみまで対象拡大を。介護保険料が年金引上げ額を年1万円も引上げになるのでは物価高騰対策に逆行する。

答 対象拡大は考えていない。



▲知立市南小学校の被爆あおぎりの木



長崎 章浩

碧南市の生活保護の現状について

問 過去5年間の生活保護費の支出額は。

答 合計約22億4千万円、直近は年間5億円を超えている。

問 生活保護費の内訳は。

答 令和6年度は生活扶助1億3572万円余。住宅扶助7879万円余。医療扶助2億5654万円余。

問 生活保護世帯の構成は。

答 高齢者世帯が51・1%で半数を超える。母子世帯1.8%。障害者世帯12・0%で大きな変化はない。

問 外国人世帯の生活保護については。

答 令和6年度末で21世帯(全体の9.3%)、5年前は11世帯(約2倍に増加)。

問 本来、生活保護法は日本国民を対象とする制度であり、

2014年7月18日の最高裁判所判決でも「外国人に生活保護を請求する法的受給権はない」と明確に示されている。ただし、人道的観点から厚生労働省の通達により、当分の間の制度として永住者や定住者などに準用されてきたものが、結果として70年以上にわたり運用されているのが実情である。生活保護制度に対する市民理解の取り組みは、制度への誤解や偏見をなくすことが重要であり、市は就労支援や年金制度の活用を進めながら、安心して暮らせる環境づくりに努める。



▲生活保護制度のあり方



みらい市民クラブ 神谷 悟

環境にやさしいまちづくりの取り組みについて

問 ごみ減量化に向けての今後の取り組みは。

答 ごみ減量化に向けて、1枚目からごみ袋を有料化することは減量をより一層推進するため有効な手段と考えており、近隣自治体の状況、本市の財政状況等も勘案し、判断していきたいと考えている。

問 一般可燃ごみの収集方法の見直しや今後の取り組みは。

答 ステーション方式は県内でも採用が多い収集方式となっているが、本市としては現在の路線収集方式を継続しつつ、他市の取組事例を参考に、追加費用の発生を抑制しながら改善できる手法があれば、検討したいと考えている。

問 現在の資源ごみステーション箇所を統廃合し、常時開設または、土日開設はできないのか。

答 常設の資源ごみステーションを設置すれば、市民の利便性は向上するものの、常設に必要な経費も増加する。資源ごみステーションの統廃合により影響を受ける方もいるため、慎重な検討が必要である。

問 資源ごみステーションにおいてリチウムイオン電池の取り扱いの改善はできないか。

答 ごみカレンダーではリチウムイオン電池を含む家電製品における表示区分の中にリチウムイオン電池の表記がないため、次回作成時に表記を改める。



▲拡充を望む月1回の日曜資源ごみ搬入事業



心政会
小林 晃三

碧南市の災害対策(酷暑・内水氾濫・地震津波)について

問 防災・減災の認識は。

答 防災・減災は、市民の生命、身体及び財産を災害から保護する最も基本的で、最重要課題の一つとして捉えている。

問 公共施設酷暑対策は。

答 冷房に関しては市内20か所の公共施設でクーリングシェルターを開設している。公共施設の中には老朽化により能力が低下しているものもあるのが現状である。

問 文化会館改修の予定は。

答 公共施設等総合管理計画を来年度見直す予定だったが、本年度から前倒しで着手したい。

問 小中学校・幼稚園・保育園の酷暑対策は。

答 熱中症警戒アラートなどの情報を収集し、危険と予想される場合には各学校へ絶えず啓発と注意喚起を行っている。また、保育園・幼稚園では、こまめな水分補給と空調のある保育室等で活動する工夫もしている。

問 内水氾濫対策は。

答 時間雨量50ミリを超える豪雨は内水氾濫を引き起こす可能性がある。来年度に公表できるような内水ハザードマップの作成を進めている。要配慮者の避難は個別避難計画を作成中。

問 地震津波対策については。

答 土木インフラ施設を除く公共施設の耐震化は完了。避難経路情報は碧南市防災ハンドブックに掲載している。



▲津波フラッグ



心政会
磯貝 忠通

町内会役員の負担軽減について

問 過去3年間の町内会加入率の推移は。

答 令和5年が68・0%、令和6年が66・4%、令和7年が64・7%で、年々減少傾向である。

問 高齢者の長寿をお祝いする地区への敬老会助成金、1人当たり1000円の上限を引き上げていただけませんか。

答 現行通りで理解してほしい。

問 印刷コストをかけて40ページにも及ぶ広報紙とホームページやLINEとのすみ分けは。

答 紙媒体とデジタルとのバランス等は引き続き検討する。

問 刈谷市では、今年度から広報紙の配布を町内会からポスティング業者に委託

したが、碧南市ではいくらかかるか。

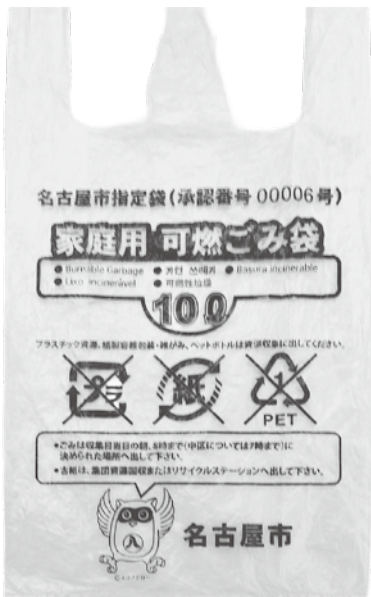
答 市内全約3万世帯に配布すると、その他の配布物を含め、年間3300万円かかる。

問 名古屋市の一部食品スーパーでは、10L用の指定袋をレジ袋として販売しているが、碧南市でもお店に提案できないか。

答 碧南市ではごみ袋は3種類と考えており、20L用の袋の導入を検討しているため難しい。

問 ごみ袋を無償で配布している自治体は愛知県内で碧南市と東海市だけが、配布枚数の公平性やごみの減量化、配布する町内会役員の負担軽減のため、有料化を考える時ではないか。

答 近隣自治体の状況、ごみ減量の推進、不公平感の解消など財政状況も勘案し判断したい。



▲レジ袋がごみ袋(名古屋市)



翔政会
森下 敏弥

市長のおしゃべり会について

問 1年間実施した感想は。

答 市政を進める上で、対話の重要性を改めて認識できた。

問 令和6年度の開催状況は。

答 17回開催、小学生から高齢者まで延べ248名が参加。

問 市民の対話の中で出た意見はどのように整理しているか。

答 発言、提案、質問など集計や分類は行っていない。

問 要望を直接受けたいとする方針の中で市政への反映は。

答 市長のみでなく関係部署職員も同席し情報共有。必要・可能なものは市政に反映していく。

問 市民目線の市政実現のため、意見を市政へ反映するプロセスの制度化を提案するが。

答 政策形成の場とせず、市民が碧南市の将来を自分事として捉える意識を高めていきたい。

ごみ回収の適正化とカラス被害の対策について

問 ごみ収集路線が非公開で不便。マップ等で公開できないか。

答 予定はない。環境課に来ていただければ丁寧の説明する。

問 狭あい道路付近ごみ集中地の相談にどう対応しているか。

答 まず現場を確認し近隣へのマナー啓発等を実施。違反者が分かれば直接指導もしている。

問 カラス被害の対応や破れなごみ袋の採用等、新たな対策は。

答 マナー順守の呼び掛け、荒らされた場合、市にて清掃等迅速に対応する。先進的事例があれば調査・研究したい。



▲狭あい道路付近のごみ集中地



みらい市民クラブ
鈴木 みおり

安心・安全で活気あるまちづくりについて

問 不審者・変質者等の対応方針と取り組みは。

答 安全推進員として警察OBを雇用しまた民間業者へ市内巡回を年間120回委託している。

問 あと1年に迫ったアジア競技大会に展開されるイベントは。

答 年内は「JVBシリーズ2025碧南大会」を実施し、年明けにはトークショー・アジアンマルシェ・市内小中学校の給食にアジア各国の料理を提供する予定。更に聖火リレーのコースに立候補する意を伝えている。

問 活気ある碧南市と言えば「餅投げ」が伝統行事として有名だが、大会期間中に会場近くで実施し、景品にふるさと納税返礼品や一店逸品商品等を商店街連盟さんにご協力頂ければ盛り上がるかと考えるがどうか。

答 スペースや安全面により実施は難しい。市民有志による自主的な実施は可能と思われる。

教育行政について

問 小学校別の出生数が急激に減少し続け、昨年の490人を更に大きく下回り350人前後と推測されるが、学校の統廃合等を審議する協議会を設置する時に来ていると考えるがどうか。

答 統廃合など学校規模の適正化の検討は、児童生徒の通学距離や地域性等も考慮し検討する必要があり、適切な時期に保護者や地域住民と共通理解を図りながら進める必要がある。



▲餅投げ(イラスト)



心政会
藤浦 伸介

水道事業の強靱化について

問 矢作川流域上下水道広域連携協議会(仮称)準備会のこれまでの経過は。

答 西三河9市1町で令和6年8月に発足し、これまでに6回会議を開催。上下水道の一本化の方向性、経営の一体化の効果の検証結果、各団体の課題への対応方針などについて検討。

問 準備会の今後の予定は。

答 総論的ではなく、具体的に一本化を検討するため、年度内に「矢作川流域上下水道広域連携協議会(仮称)」を立ち上げ、移行する見込み。

問 昨年度改定した碧南市水道事業経営戦略の概要は。

答 計画期間を変更し、料金収入の見直しを行った結果、資金不足が生じる見直しとなった。

問 水道料金の改定は。

答 令和7年7月に外部有識者

等で構成する碧南市水道事業及び下水道事業審議会に諮問。今後、審議会の答申を受けたうえで、慎重に検討していく。

問 4月から運転管理を民間委託している第2配水場の状況は。

答 昼夜交代制で技術者が24時間、2名以上常駐する体制を整備。有資格者指導のもと、全体研修等を定期的に実施。緊急時には、受託業者から速やかに市へ通報・報告が行われ、市が状況を把握したうえで対応方針を決定、事業者に必要な指示を行う体制を整えている。



▲今年度から民間委託された第2配水場



翔政会
柁宜田 拓治

令和7年度新規事業等について

問 結婚新生活支援事業と近隣市合同での婚活イベント開催は。

答 婚姻に伴う新生活を経済的に支援する目的で新設した補助制度。10件の問い合わせがあり、利用状況は2件。近隣市合同での婚活イベント開催に向けて働きかけを行い結婚、出産に繋がるとの取り組みを行っていききたい。

問 あおいパーク大規模改修事業と国庫補助金による財産処分制限期間の満了はいつか。

答 令和6年度策定の大規模改修基本構想に基づき基本設計中で、進捗率は20%。財産処分制限期間の満了は令和18年度末。

問 避難所資機材整備事業は。

答 災害関連死を防ぎ長期的な避難所生活によるストレス軽減等避難所環境の向上のため、テントやエアベッド等を配備する。

問 防災倉庫建設事業は。

答 現在4か所ある防災倉庫では備蓄計画に基づく備蓄面積が不足するため、新たな防災倉庫を神有町地内に令和7、8年度で整備を行う。

問 アジア競技大会推進事業は。

答 組織委員会から正式な開催決定通知は来ていないが、本市でのビーチバレー開催に向けて盛り上げ事業や啓発活動を実施していく。また、販売はしないがイベントで配布するグッズを作成してPRに努めたい。選手団等の受け入れは衣浦グラウンドホテルの活用を組織委員会に要望している。



▲186名参加の全日本U15選手権碧南大会



岩月 ひろし

子ども食堂について

問 現在の支援状況と、今後の支援予定は。

答 居場所づくりの一環として、子ども食堂の取り組みに対し、公共施設利用料の減免。市ホームページを通じて広報。子ども食堂に対する寄付の申し出に係る連絡調整を行っている。

問 碧南市は子ども食堂に物品の提供をしているのか。

答 食品等に物品を提供した実績はない。

問 碧南市ホームページや碧南市LINE公式アカウントを活用し、期日を指定して、碧南市の庁舎、公民館などで、フードドライブを実施しては。

答 市が主体となつて、フードドライブを実施する考えはない。子ども食堂連絡会等の団体が、回収ボックスを設置して実施する場合には、実施方法を確認の上で、市内公共施設の利用、市

民への周知について協力する。

集客力向上に向けた、あおいパークの施設改修について

問 温室施設はどつするの。

答 利用者の利便性の向上と、本館北側出入口付近の歩行者の安全確保のため、温室を廃止・撤去し、跡地を有効活用する。

問 愛知県は蘭(ラン)の生産量が日本一であり、鉢などの陶器は三河焼ブランドとして登録されている。観光戦略、地産産業の振興策として、集客力のある新たな温室施設を整備しては。考えていない。



▲あおいパークの温室施設



公明党
大竹 敦子

災害に強い安心安全なまちづくりについて

問 市は、住宅耐震化を令和12年に概ね完了する計画で取り組まれている。その進捗状況は。

答 昨年度末の耐震化率は約92%で、今年度900戸の耐震化が必要。今後、戸別訪問を実施し促進に努めていく。

問 耐震化の必要な家の多くは高齢者が居住している。介護保険の住宅改修と合わせるなど他課と連携させて、耐震改修費の補助額を増額してはどうか。

答 現時点で加算は考えていないが、他課と連携し、補助制度の効果的な活用を努める。

問 避難行動要配慮者に対し、予め調整しておき、発災時、指定された福祉避難所に直接避難できるようにしてはどうか。

答 市と協定を締結している福祉避難所も発災直後の開設が困難な場合がある。一旦、一般の

避難所に避難をお願いしている。

問 発災時の通電火災を防ぐため、有効な感震ブレーカーの設置補助を行ってはどうか。

答 県や近隣自治体の状況を注視し、考えていく。

発達性ディスレクシアについて

問 発達性ディスレクシア「読み書き障害」の専門的教師を育成し、就学時健診でのスクリーニングで把握し、トレーニングなど合理的配慮で支援しては。

答 専門の検査は実施していないが、通級担当の教員の専門性向上のため研修を実施している。



▲感震ブレーカーの設置例 (防災ポラ提供)



心政会

高木 洋和

市内駅周辺について

問 碧南駅周辺の亀島織布跡地について現状と予定は。

答 美術館来館者や大浜保育園職員の駐車場、防災備蓄倉庫及びちびっこ広場として活用している。保健センターの移転先候補地の一つであるが、現時点では具体的な土地利用計画は決定していない。

問 碧南中央駅テナントが入居0店舗の現状を打開するために、名鉄側と話し合っているか。

答 「駅舎テナントの充実と有効活用の促進について」として、空きテナントの有効活用策を共に考え、対応策の検討・協力を要望している。今年度も11月に名鉄に対する要望会を実施し、引き続きテナント活用の重要性を伝えていく予定である。

問 新川町駅周辺で、今後予定される新たな道路整備はあるか。

答 市事業での(都)新川町駅前

西線、県事業での(都)名古屋碧南線が未整備であるが、現時点で事業化の予定はない。

問 北新川駅周辺開発のイメージと計画、進度は。

答 北新川駅周辺の課題に交通環境や賑わい等があり、これら課題を解消し、駅を中心とした便利で魅力ある拠点を目指す。具体的には、駅前広場や都市計画道路の整備、道路網の見直し、周辺施設とのネットワーク形成などが考えられるが、今年度基本構想を策定していく中で検討する。



▲碧南中央駅のテナントの状況

傍聴者の声

碧南市議会では、市民の「声」に広く耳を傾け、議会の活性化に役立てることを目的として、議会を傍聴された方を対象に、アンケートを実施しております。今回は次のようなご意見、ご感想が寄せられました。

(30代・男性)

一般市民には耳なじみのない言葉、用語がでたときは、その説明をテレビ画面などに補助的に出しても良いかもしれません。若年層は本当に「こんなの常識だろ」といった基礎的知識が欠けているため、話の内容が理解できず、政治離れが加速していると感じます。細やかな政策を行ってもそれを市民が把握していない事が残念です。

(40代・女性)

議会だよりで読んだだけでは、分からない具体的な内容を知ることができて良かったです。ありがとうございました。平和教

育の質疑では、教育長の子供たちの教育に対する考え方は素晴らしいと思えました。子を持つ母として、事柄を自分はどう捉え、どう感じたかというのは、自ら考える力を育むとても大切な教育だと私も思います。碧南市の教育に期待しています。

(50代・女性)

2日間、傍聴させていただきました。9月4・5日傍聴人が少なく少しさみしいですね。議員の方々も色々な質問をされているので、もっと市民の方に聞いてもらえると、更なる活動につながると思います。市民に案内する方法がもっとあればと思います。

(70代・男性)

議員はそれぞれの立場で、質問されています。さらに多数の質問されることを期待しています。

議会を傍聴しましょう

本会議及び委員会等は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。市民の代表でもある市議会議員の活動や市政の方針などを直接皆さんの耳や目でお確かめください。

議会の窓

議員研修会兼市民病院勉強会を実施

▼とき

令和7年9月8日(月)

▼講師

城西大学 経営学部教授
伊関 友伸氏



▲議員研修会兼市民病院勉強会の様子

▼主な内容

今回の議員研修は、伊関友伸教授をお招きして「試練の時代の自治体病院の経営―碧南市市民病院の経営・医療提供状況分析」をテーマとし、講師には事前に碧南市市民病院の状況や医療圏について調査をした上で研修を行っていた。

講義の中では、少子高齢化の影響により2035年以降の自治体は深刻な医療人材不足に直面すると危惧し、医師、看護師、介護士などの人材や病床・介護施設等が不足するため特に人材を減らすことなく病院経営を維持する必要がある点や、収益改善のため病床数のさらなる見直し、高齢者へ重点を置いた医療提供、指定管理者制度の導入等、現状の市民病院から大きな変化をもたらす必要があると説明をされた。

全国の公立病院の赤字割合は2023年で約70%、2024年では約86%が赤字と調査結果がある中、碧南市市民病院も本定例会で14億円もの補正予算が上程されるほど

苦しい経営状況が続いている。今後の公立病院の在り方を有識者の視点で学ばせていただいた。

東中学校研究発表会を見学

▼とき

令和7年9月19日(金)

▼場所

東中学校

▼テーマ

他とのかかわりで学びを深める生徒の育成
―楽しい道徳授業と人間関係作りを通して―

▼主な内容

テーマについて各クラスの公開授業があり、生徒たちが積極的に発言をし、学んでいる様子を見学した。



▲東中学校研究発表会の様子

12月市議会定例会 12月3日(水)開会予定

第1日は、12月3日(水)午前10時に開会します。会期は12月19日(金)まで17日間を予定しています。

※会議日程は左記のとおり予定しておりますが、正式には議会運営委員会で決定いたします。

12月定例会での一般質問の様子は、「碧南市議会ホームページ内のインターネット中継」又は、「キャッチネットワーク(地上デジタル112ch)」で下記の日時に視聴できます。

12月11日放映(12月3日分)

12月15日放映(12月4日分)

12月17日放映(12月5日分)

いずれも午前10時から予定。

12月市議会定例会の予定

- 11月21日(金) 議会運営委員会
- 12月3日(水) 本会議第1日(一般質問)
- 4日(木) 本会議第2日(一般質問)
- 5日(金) 本会議第3日(一般質問)
- 9日(火) 本会議第4日(議案上程等)
予算審査特別委員会
- 10日(水) 総務文教委員会
総務文教分科会
- 11日(木) 福祉健康委員会
福祉健康分科会
- 12日(金) 経済建設委員会
経済建設分科会
- 17日(水) 予算審査特別委員会
議会運営委員会
- 19日(金) 本会議第5日

